

新着図書から

▼天使の報酬／真保裕一／講談社▼メロディ・フェア／宮下奈都／ポプラ社▼ラーメンマップ茨城3／茨城ラーメン探検隊／幹書房▼僕と妻の1778話／眉村卓／集英社▼テリヌアート／原口広／旭屋出版▼ハーブガーデン／草野たき／岩崎書店

カレンダー 5・6月

日	月	火	水	木	金	土
5/1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	6/1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

火～金 10:00～18:00
土・日 10:00～17:00

■ 休館日
○ おはなし会 11:00から

桂図書館・資料館 だより

☎ 029-289-4946

パソコン・携帯から蔵書検索・予約できます

PC <http://lib.town.shirosato.ibaraki.jp>

携帯 <http://mlib.town.shirosato.ibaraki.jp>

携帯用QRコード



図書整理のため休館

5月31日(火)は図書整理のため休館となります。図書資料を返却する場合は、図書館入口脇のブックポストをご利用ください。
※AV資料は大変壊れやすいので、ブックポストには返却しないでください。

おはなし会のお知らせ

毎月第2・第4土曜日、午前11時から30分間、ボランティアアグリブ「あすなる」の皆さんによるおはなし会(かみしばい)を行います。お気軽にご参加ください。

苦役列車



西村賢太
新潮社

【芥川賞(2011上半期)】友もなく、女もなく、1杯のコップ酒を心の慰めに、その日暮らしの港湾労働で生計を立てている19歳の貫多。或る日、彼の生活に変化が訪れた。表題作ほか全2作品を収録。

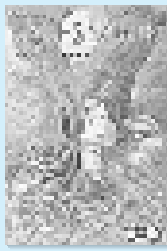
苦役列車



朝吹真理子
新潮社

【芥川賞(2011上半期)】葉山の高台にある別荘で、幼い日をともに過ごした貴子と永遠子。ある夏、突然断ち切られたふたりの親密な時間が、25年後、別荘の解体を前にして、ふたたび流れはじめる。

きこことわ



竹下文子
小峰書店

旅をする理由を聞かれても、ちょっと困る。どうしてか、自分でもよくわからないから。でも、旅は楽しい。こんどはどんな旅になるだろう。どんなことに出会えるだろう。旅先での出会いや景色を、少年の視点でさわやかに描く。

俳句

逃げさうな露の臺なり手を伸ばし
高橋 芦江
糸柳揺れる川あり蔵の街
鯉淵寿美恵
寝不足の朝に見つけし牡丹の芽
今瀬多代美
真つ直ぐな表参道桜散る
飯村 昭子
木五倍子咲きひっそりとする
仲田まちあ
清らかに安曇野の水山葵沢
森 静江
水が出ると公園に列つくしんぼ
竹内 幸子
捨てられし田に生えし木も芽
飯田 勇一

川柳

畦道の混み合ふあたり田植終う
いそべきよ
春光やアンデス産の塩むすび
寺門 孝子
たれか言ひし日本沈没桜咲く
瀬谷 博子
釣針の仕掛け結わいて柳絮飛ぶ
岩下 金司
土踏まず筍探ぐる日向山
田口 勝元
冒険の日々です後期高齢者
仲田 こう
寒の明け娘と祝う誕生日
富田 欽子
激震で屋根の瓦が庭いっぱい
青木新三郎
国民の意識を変えた大震災
富田 多蔵

文芸しるさと

短歌

青い空トンビ輪をかき山に立つ
しいたけ原木おろす我が日々
鶴田 すが
鶯のよき声透る山里で罹災さ
れしを祈り励ます
菌部 光子
闇のなか余震に怯えし一夜あ
け水の怖さと貴さを知る
枝 不美
崩れゆく心に支え欲しき日ぞ
鉢植えの梅の初花開く
片見 和枝
人の世は天変地異に苛まれる
なれど玲瓏と満月は光る
川上千代子

あかあかと茜とくわして暮れて
行くしじ間に祈る巨大地震に
耐ゆる人等に 島 愛子
津波うけ六角堂も吞まれしと
ふ松風さきし「五浦」なつかし
多田志保子
時ならぬ大地震ありおどろき
ぬ余震つづきて心いたみぬ
坪井きよ子
地震後の片付けしつづ古き物
見ては読んで来し方思う
萩谷登喜子
大地震に平穏な日のありがた
き一月を経て余震頻繁なれば
富田佐智子
山ありて川のせせらぎ小ブナ
釣り遊びし昔の西小消ゆとは
川原 清